

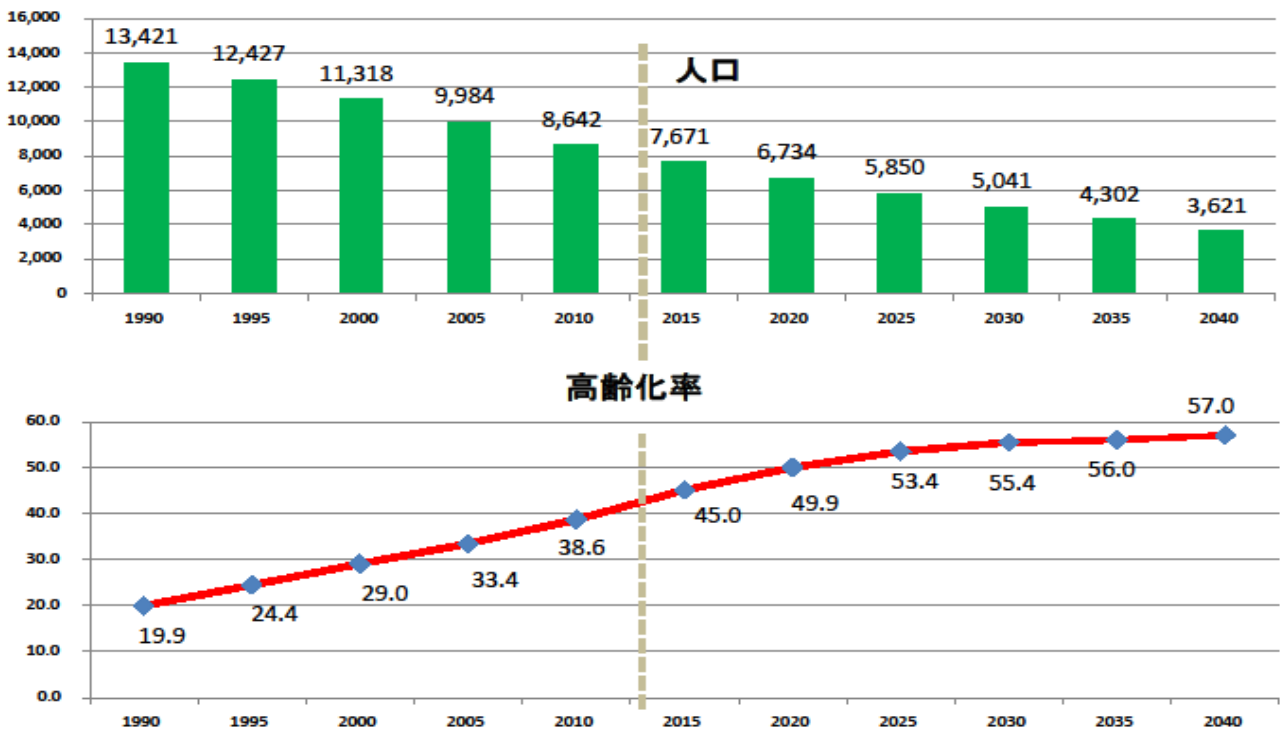
## ◇ 将来を見据え持続可能なまちづくりを進めていくうえでの課題が山積

### → 急速な人口減少、高齢化の進行、産業等活力の停滞等が背景

地域社会が、地域課題や社会の変化に対して、規模の拡大や外部の力に依存するのではなく、適正な規模を維持しつつ、自らの持つ資源を活用し、自ら解決策を考え、実行していく力（自治の総合力）を高めるための仕組みが必要となっています。

※国立社会保障・人口問題研究所(平成25年(2013)年3月推計)によると、2040年には、吉野町の人口は3,621人になると推計されています。 <http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson13/3kekka/Municipalities.asp>

## ■ 吉野町の人口と高齢化率の推移



出典:実績は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所(2013年3月推計)による

## 『吉野町まちづくり基本条例』策定に向けて、吉野町まちづくりフォーラムを開催します

今回のフォーラムでは、「吉野町まちづくり基本条例」【町民、議会、行政の3つの主体が連携・協働して、様々な課題を乗り越え持続可能な吉野町をつくっていく時に基盤となるルール】を策定するにあたり、これからのまちづくりについて「どのような考え方を基本にするのか」・「どのような方法で決めていくのか」・「誰にどのような役割や責務があるのか」などを今後、考えていくうえで何を大切にしなければならないのか等をみんなで考える機会として開催します。

当日は、昨年10月から策定審議会で検討議論している内容の進捗報告や既に基本条例を制定してまちづくりに取り組んでいる兵庫県朝来市から与布土地域自治協議会の岡林会長をお迎えして、住民自治の実践事例を交えたお話も伺います。皆様のご参加をお待ちしています。